

(地独) 大阪産業技術研究所 平成31年度予算の重点項目について

1. 重点項目の基本的な考え方

平成31年度は、中期計画の3年目として、引き続き「スーパー公設試」を目指し、1) 多様な技術支援、2) 企業支援研究等の推進、3) 研究開発の戦略的展開、4) 人材の育成、5) 一気通貫の企業支援、6) その他、の各分野で具体的な事業に取り組む。

技術支援分野では、金属積層造形（AM）技術の高度な研究、試験評価を実施できる国内トップクラスの総合拠点となる「3D造形技術研究開発センター」の構築に向け、2ヵ年計画の施設整備を進める。

また、平成30年度に国際規格（ISO/IEC17025）に基づく試験所認定を取得した「EMC技術開発支援センター」については、中小企業の海外展開支援などに向け、積極的に技術支援を行っていく。

さらに、平成30年度和泉センター版事業継続計画（BCP）を策定したのに引き続き、平成31年度は、森之宮センター版BCPを策定し、災害時における対応能力の一層の強化を目指す。

これらの観点から、平成31年度の予算編成に当たって、次の項目を重点的に取り組む。

2. 平成31年度 重点項目の内容

1) 多様な技術支援

- ① 3D造形技術研究開発センターの施設整備【新規】
- ② 国際規格（ISO/IEC17025）の認定を取得した電波暗室による技術支援の実施【継続】
- ③ 工業標準化法試験事業者登録制度（JNLA）に基づく試験の実施【継続】
- ④ 中小企業の海外展開支援【継続】

2) 企業支援研究等の推進

- ⑤ 公募型共同開発事業【継続】

3) 研究開発の戦略的展開

- ⑥ プロジェクト研究の推進【継続】

4) 人材の育成

- ⑦ 地域を支える次世代加工技術者育成事業【継続】

5) 一気通貫の企業支援

- ⑧ 産業技術支援フェア in KANSAI の開催【新規】
- ⑨ プロモーションビデオの作製【新規】
- ⑩ 金融機関との連携による先進技術スタートアップ事業【継続】
- ⑪ 和泉市、東大阪市と連携した医療分野への新規参入促進事業【新規】
- ⑫ おおさかグリーンナノコンソーシアム事業の推進【継続】
- ⑬ 産学官連携による自主企画研究会の推進【継続】

6) その他

- ⑭ 備品管理システムの導入【継続】
- ⑮ 危機管理対策の推進・事業継続計画（BCP）の策定【継続】
- ⑯ 防犯カメラの設置【継続】

1) 技術支援機能の強化 114,540 千円

① 3D造形技術研究開発センターの施設整備 (110,080 千円) (新規・目的積立金事業)

○金属積層造形 (AM) 技術の高度な研究、試験評価を実施できる国内トップクラスの総合拠点となる「3D造形技術研究開発センター」の施設を旧電波暗室跡に2ヶ年の計画で整備する。

②国際規格 (ISO/IEC17025) の認定を取得した電波暗室による技術支援の実施 (1,560 千円) (継続)

○平成30年度に国際規格 (ISO/IEC17025) の認定を取得した「EMC技術開発支援センター」については、中小企業の海外展開支援などに向け、最新の情報を収集し、積極的に技術支援を行っていく。

③工業標準化法試験事業者登録制度 (JNLA) に基づく試験の実施 (2,700 千円) (継続)

○森之宮センター、次世代デバイス評価支援センターにおいて、JNLA試験認定事業者としてLED電球に関する試験を実施する。

④中小企業の海外展開支援 (200 千円) (継続)

○MOBIO や JETRO (日本貿易振興機構)、INPIT ((独)工業所有権情報・研修館) などと連携し、中小企業の海外展開支援に向けたセミナーを開催する。

2) 企業支援研究等の推進 6,000 千円

⑤公募型共同開発事業 (6,000 千円) (継続・目的積立金事業)

○府内の中小企業とともに、製品づくりを目指した共同開発を行う。

3) 研究開発の戦略的展開 13,721 千円

⑥プロジェクト研究の推進 (13,721 千円) (継続)

○新たにAI関連技術プロジェクトを立ち上げ、3ヶ年計画で推進しているロボット分野に関する3年目の研究や、中小企業においてAIシステムを構築できる人材の育成を目指した取組みを推進する。

○従来の機械、金属、化学、電気・電子といった分野にとらわれず、異分野を融合した取組みを行うことにより、新しいニーズや新しい領域の研究開発を積極的に推進する。

4) 人材の育成 2,000 千円

⑦地域を支える次世代加工技術者育成事業 (2,000 千円) (継続・目的積立金事業)

○5軸制御マシニングセンタの性能を發揮させるためには、ソフトへの理解と加工機に十分習熟した人材が必要となる。中小企業への普及を促進するため、業界団体と連携したセミナーや研修会を開催し、人材育成支援に取り組む。

5) 一気通貫の企業支援 33,954 千円

⑧産業技術支援フェア in KANSAI の開催 (1,000 千円) (新規)

○国立研究開発法人産業技術総合研究所と共同で、大阪技術研をはじめとする関西圏の公設試が一堂に会し、環境、エネルギー、暮らしに関わる技術についての展示会を大阪市内で7月に開催する。

⑨プロモーションビデオの作製 (4,104 千円) (新規・目的積立金事業)

○両センターの活動を積極的に情報発信するためのプロモーションビデオを作製する。

⑩金融機関との連携による先進技術スタートアップ事業 (1,600 千円) (継続)

○研究シーズと企業ニーズのマッチング、共同研究スタートに際し、良好なテーマ発掘と早期製品化に結びつける為、金融機関の協力を得て実施する。

⑪和泉市、東大阪市と連携した医療分野への新規参入促進支援 (1,430 千円) (新規)

○和泉市、東大阪市と連携し、医療分野への中小企業の新規参入を促進する。

⑫おおさかグリーンナノコンソーシアム事業の推進 (25,620 千円) (継続)

○本事業は大阪地域の活性化、成長分野開拓をめざす産官学連携のイノベーションプラットフォームとして森之宮センターの強みであり、引き続き強化、発展を図る。

○フォーラム実施、展示会への出展、情報受発信、研究に必要な競争的資金の獲得、イノベーションに向けたプロジェクトの創成・支援等、各種企画・運営・支援を行う。

⑬産学官連携による自主企画研究会の推進 (200 千円) (継続)

○産学官連携による自主企画研究会（バイオ産業研究会、次世代光デバイス研究会、食品ユニバーサルデザイン研究会）において、講演会等の交流事業を開催する。

6) その他 5,722 千円

⑭備品管理システムの導入 (500 千円) (継続)

○平成30年度に引き続き、現行の機器稼働率調査方法を改善するとともに、機器に関する各種情報を一元管理することにより、機器整備のPDCAを効率的に実行するための新たなシステムを導入する。

⑮危機管理対策の推進・事業継続計画（BCP）の策定 (2,222 千円) (継続)

○平成30年度策定した和泉センター版BCPに引き続き、森之宮センター版を策定する。併せて、和泉センターにおいて必要な災害対策用備品整備を図る。

⑯防犯カメラの設置 (3,000 千円) (継続・目的積立金事業)

○和泉センターに防犯カメラを増設し、リスク管理の向上に努める。

(参考) 平成31年度予算案の概要

収入予算の概要

(単位 百万円)

	平成31年度予算	平成30年度予算	増減
運営費交付金	3,363	3,144	219
事業収入	556	530	26
外部資金	140	181	▲41
その他収入	86	74	12
前中期目標期間積立 金取崩収入	101	34	80
目的積立金取崩	79	0	66
合 計	4,325	3,963	362

支出予算の概要

(単位 百万円)

	平成31年度予算	平成30年度予算	増減
人件費	2,175	2,204	▲29
試験研究経費	1,061	1,008	53
施設整備費	505	173	332
一般管理費	484	447	37
外部資金研究費	100	131	▲31
合 計	4,325	3,963	362